

授業科目名	経営学特殊講義（B） 会計専門職業人の役割	(英語名)	Special Topics 会計専門職業人の役割
科目区分	専門教育科目	－	
対象学生	国際商経学部	学年	2年
ナンバリングコード	KCCBK2MCA1	単位数	2単位

ナンバリングコードは授業科目を管理する部局、学科、教養専門の別を表します。詳細は右上の？から別途マニュアルをダウンロードしてご確認ください。

授業の形態	講義（Lecture）	開講時期	2025年度後期	
担当教員	瓦田 沙季	所属	社会科学研究科	
授業での使用言語	日本語		関連するSDGs目標	該当なし
オフィスアワー・場所	授業終了後、教室にて	連絡先	saki-k@acs.u-hyogo.ac.jp	

対応するディプロマ・ポリシー(DP)・教職課程の学修目標

二重丸は最も関連するDP番号を、丸は関連するDPを示します。

学部DP	1◎／4◎
研究科DP	－
全学DP	－
教職課程の学修目標	－

講義目的・到達目標	【講義目的】 この科目の目的は、会計専門職の魅力を伝え、会計専門職業人になるための道標を示していただくことである。そのために、社会で様々な立場で会計に関わっている講師をお招きし、講義していただく。 【到達目標】 1)会計専門職は社会的に必要とされる職業であり、目指す価値のある職業であることを理解してもらうことを通じて、専門職業人としてのキャリアを意識し、学習できるようになること、2)自分の目指すキャリアについて考え、述べられるようになること、である。
授業のサブタイトル・キーワード	キーワード：会計専門職業人、会計の役割
講義内容・授業計画	【講義内容】本講義では、会計に関する職業について、例えば企業の経理は「記帳・決算書の作成」、公認会計士は「監査」というような固定された仕事だけをしているのではなく、多彩な活躍のフィールドがあることを講師からお話していただき、会計専門職の知られざる魅力も伝えていただく。 【授業計画】本講義では、多くの授業が外部講師により行われる。講師の都合により、授業計画を変更することがある。授業計画の確定版は、授業開始時に公表する。 1. 会計専門職の魅力と将来性 2. 「会計専門職ってどんな仕事？」①公認会計士の仕事 3. 「会計専門職ってどんな仕事？」②税理士の仕事 4. 「会計専門職ってどんな仕事？」③財務専門官もしくは国税専門官の仕事 5. 「会計専門職ってどんな仕事？」④経理担当者の仕事 6. 「会計専門職業人になるための勉強法」①公認会計士になるための勉強法 7. 「会計専門職業人になるための勉強法」②税理士になるための勉強法 8. 「会計専門職業人になるための勉強法」③大学院進学というルート 9. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」①公認不正検査士の職務 10. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」②中小企業の経営をサポートする税理士 11. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」③公務員の世界における会計の必要性 12. 「会計専門職業人の多彩な活躍の舞台」④国際的に活躍する会計専門職業人 13. 「これからの会計専門職業人に期待すること」①企業経営者からのメッセージ 14. 「これからの会計専門職業人に期待すること」②キャリアコンサルタントからのメッセージ 15. まとめ（会計専門職業人を目指して） 評価 ※生成系 AI の利用： この授業においては生成系 AI の利用を予定していない。15回の講義は毎回講義内容について、受講生自身の理解に基づいて学習した講義内容および感想に関するレポートを作成し、提出してもらうことを前提としている。生成系AIを使用したレポートの作成が判明した場合は、単位を認定しないこと、又は認定を取り消すことがある。
教科書	それぞれの講師の講義資料を事前にユニバーサルパスポートにて配布する。
参考文献	必要に応じて指示する。
事前・事後学習（予習・復習）の内容・時間の目安	【予習】授業に際して事前に配布した講義資料を読む（30h）。 【復習】授業終了後にレポートを提出し、なお講義資料を読み直し、理解を深める。(30h)。
アクティブ・ラーニングの内容	採用しない。

成績評価の基準・方法	【成績評価の基準】 講義目的・到達目標の到達度に基づき、国際商経学部規程に従い成績評価の上、単位を付与する。 【成績評価の方法】 原則として、毎回講義内容についての理解を確かめるためにレポートを課し、提出されたレポートの内容に基づき成績評価（100%）を行う。
課題・試験結果の開示方法	講義に関する質問等は、各講師に照会した後、ユニバーサルパスポートを通じてその回答をフィードバックする。
履修上の注意・履修要件	・第1回の講義において受講ルールの説明および講師の方への事前質問の調査を行うため、必ず出席してください。正当な理由がなく、また事前に連絡がなく、第1回講義を欠席した場合、原則として、履修登録および受講を認めない。 ・学外の講師をお招きするので、常識のあるマナーで受講してください。ひどいマナー違反の場合は成績評価に影響があることもありうる。 ・単位習得のためには、毎回受講し、学習した講義内容および感想を適切に記述したレポートを提出することを推奨する。
実践的教育	該当しない。
備考	本講義は、本学の名誉教授である故阪本安一先生のゼミ同窓生から、阪本先生の神戸商科大学における会計研究の業績をたたえ、その名を後世に残すために、兵庫県立大学に寄せられた寄付金に基づいて創設された「阪本安一先生記念基金」の事業の一環として開講される。（複数の講師によるリレー講義となる。）

英語版と日本語版との間に内容の相違が生じた場合は、日本語版を優先するものとします。